

4. 流量・流況・水質

本川流量

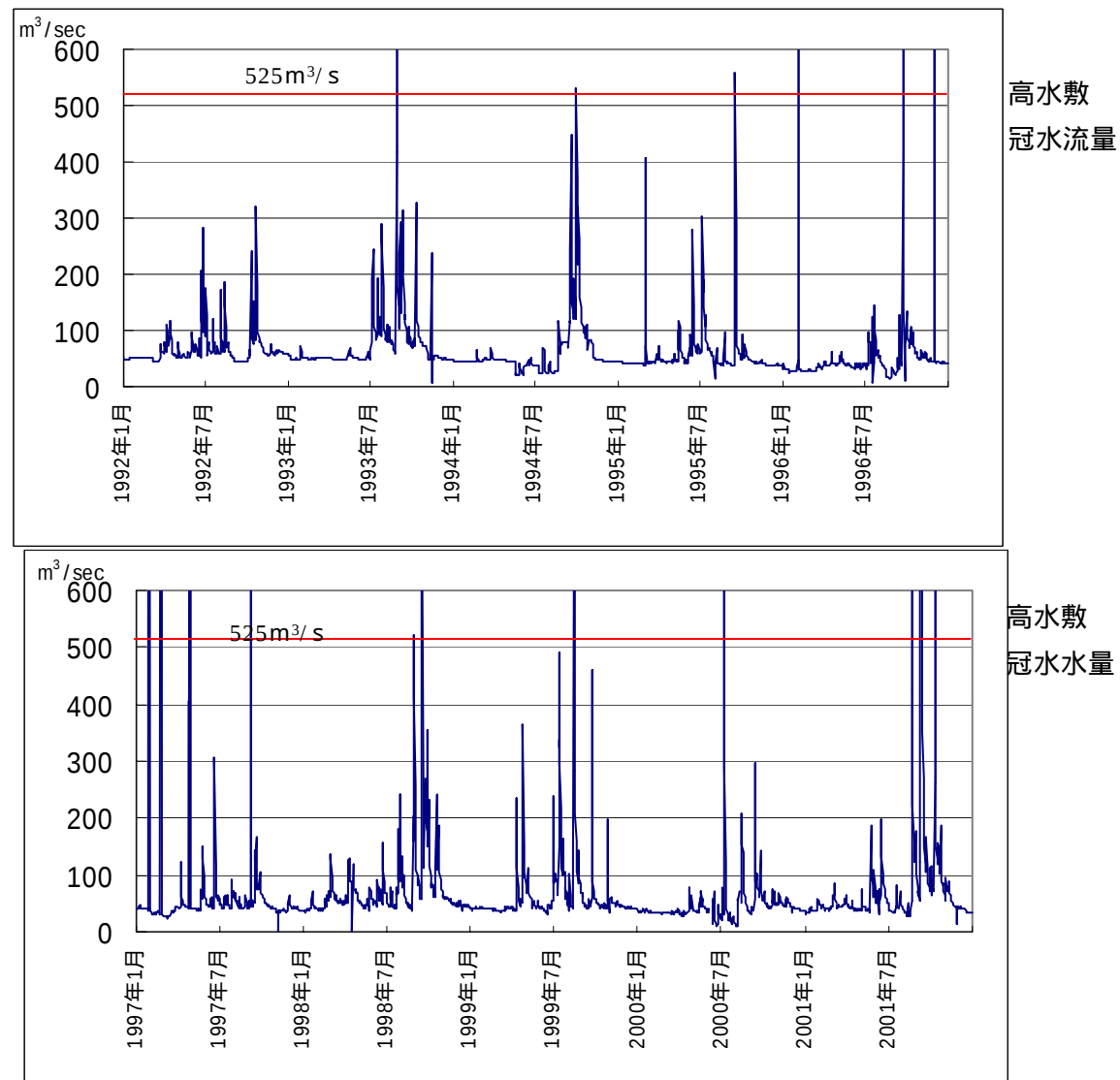


図 4-1 過去 10 年の流量変動（太郎右衛門橋）

冠水流量は、現在の太郎右衛門橋付近（53.6 km）の河道形状から水理計算（マンニングの公式）に基づき算定したものです。実際の太郎右衛門自然再生地も年に 1 回程度冠水しています。

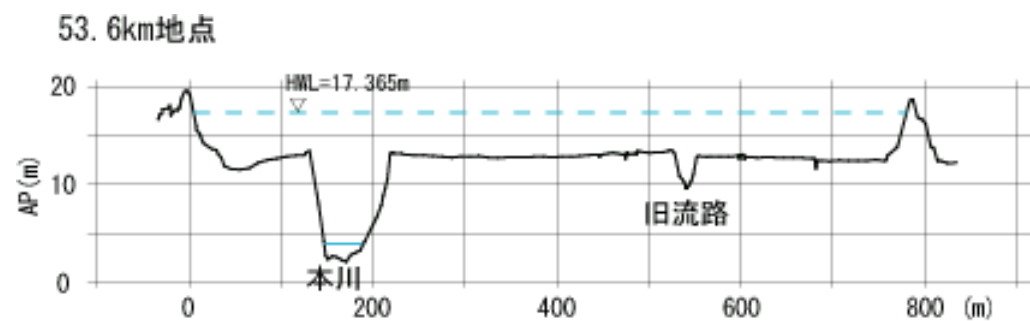


図 4-2 53.6km 地点横断面

周辺水域の水質比較

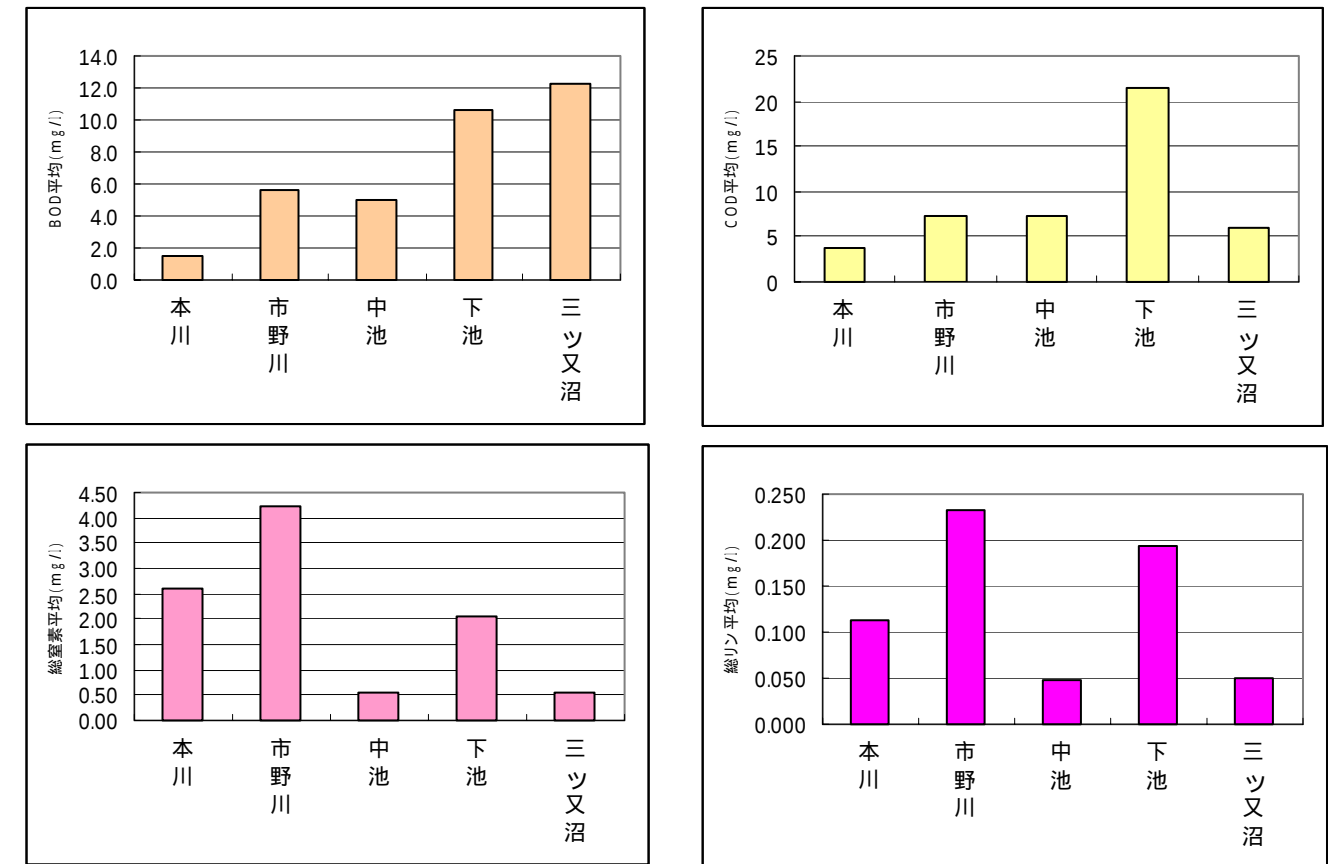


図 4-3 太郎右衛門自然再生地周辺水質

本川：平成 12 年度平均（開平橋） 市野川：平成 12～平成 13 年度

旧流路：平成 15 年 5 月、8 月

流水の有機汚濁を示す BOD では、市野川が平均 5.6 mg/l と高く、止水の有機汚濁を示す COD では下池が最も高くなっています。また富栄養化の原因となる栄養塩類では、生活雑排水等が流入する市野川が総窒素及び総リンともに高い値となっています。

< 水質の指標 >

BOD（生物化学的酸素要求量）：水質を表す指標の一つで、河川において、微生物等が分解できる有機物量の間接的な指標として使われます。微生物は有機物を分化する際に酸素を消費しますが、BOD は、その酸素消費量のことです。

COD（化学的酸素要求量）：水質を表す指標の一つで、湖沼、海域で用いられます。化学的に分解（酸化剤による分解）できる有機物の量を示します。